

第2回社会システムイノベーションセンター・レクチャーシリーズ 「産業をいかにして育てるか？」を開催しました

社会システムイノベーションセンター主催のレクチャー・シリーズの第2回目で、開発経済学の分野で研究をリードされてきた大塚啓二郎特命教授に、学部生・大学院生を対象に下記の内容をご講演していただきました。会場には、多くの学部生や大学院生、および教員が参加し、活発な議論が繰り広げられました。ご講演の内容は、下記のとおりです。

産業は、集積することが多い。産業集積とは、部品メーカーや組立てをする企業が狭い地域に密集している状況を指す。日本では、中小企業が集まる大田区や東大阪があるし、トヨタ市もそうだし、灘の酒も産業集積である。これまで20年余にわたって、どうやったら途上国で産業集積が発展するかについて研究してきた。特に焦点を当ててきたのは、貧困にあえぐアフリカでの産業集積である。これまで20箇所以上の産業集積で事例研究をしてきた。アフリカの産業集積の支援のために、Training-Infrastructure-Finance (TIF) for Industrial Development in Africa という英文の提言も準備した。しかし最近になって気がついたのは、基本的なアイデアは日本の地方創生にも使えるのではないということだ。今回のレクチャーでは、TIF 開発戦略の中身を紹介し、それが地方創生にも役立つかどうか、参加者と一緒に考えてみたいと思う。

